



オリヒメパイロット活動のご紹介

-お問い合わせ先-

共和メディカル株式会社

統括本部広報課 上村 夏美

Mail: uemura@kyowa-gr.jp

Tel: 06-6224-6224(代)

◆導入のきっかけ、取り組む理由

杉浦社長が 2016 年に開催された在宅医学会で、オリィ研究所代表の吉藤さんの講演を聞き、「障がいがあっても働ける職場（居場所づくり）」に共感したため、導入することが決まりました。

「“健康を通して社会に奉仕する”ということを基本方針に謳っていること、障がいのある方の就職機会がほとんど無いという社会問題もしっかり考えた結果導入しました。重い障がいをお持ちでも前向きに捉え、オリィ研究所の技術を介して、職を持ちたいと積極的に行動して、仕事をされているその姿こそが、人を動かして心を奮い立たせるような力、つまり“行動変容を起こす力”があると感じています。」



【日本で初めて企業と雇用契約を結んだオリヒメパイロット】

山崎 拓弥 (やまさき たくや)

1986年4月30日生まれ、島根県松江市在住

経歴

- 2015年 事故で脊椎損傷、首から下が動かず寝たきりに。
- 2019年 共和メディカルと雇用契約を結ぶ。
- 2025年 現在も、口に特製のペンをくわえて分身ロボット OriHimeを操作し、講演活動や接客業務、SNSでの広報活動などを行なっている。



■ 山崎さん活動実績

【講演】

大阪大学 人間科学部
奈良学園大学
大阪医専
YMCA学院高等学校
南海福祉看護専門学校
大阪医療福祉専門学校 など



【接客】

hi-cheese LUCUA1100店
patisserie natura上本町店
ケーキとお菓子のお店mogu
催事・イベント対応 など



【企業間交流・PR活動】

株式会社モスシャイン様とパイロット交流会
取引先訪問に同行・街頭PR活動など



■ 山崎さんメディア出演履歴

2022/2/9放送	NHK「目撃にっぽん」
2020/6/19放送	NHK「首都圏ネットワーク」
2020/7/20放送	NHK「おはよう日本」
	BSS「TELERORT SANIN」
	フジテレビ「とくダネ」
	日テレ「バンキシャ」
2020/8/7放送	TBS「NEWS」
2021/8/25放送	TBS「あさチャン」



■ 山崎さん講演 所要時間（例） ※ご希望の所要時間に合わせて内容は調整可能です。

30分

20分：山崎さんのお話

- ・ 事故で身体障害者になった話
- ・ OriHimeとの出会い
- ・ 共和メディカルで働いて思うこと

10分：質疑応答

60分

10分：密着取材の動画視聴

- ・ NHK目撃につぼん/約8分

20分：山崎さんのお話

- ・ 事故で身体障害者になった話
- ・ OriHimeとの出会い
- ・ 共和メディカルで働いて思うこと

20分：質疑応答

■ 講演費用について

弊社のオリヒメ活動は、寝たきりのパイロットである山崎さんの活動の場を広げ、オリヒメを使ってさまざまな経験を積んでいただくことを目的としているため、いただいた謝礼は必要経費（同行スタッフの移動費）などを除いて、全てパイロットへお支払いしております。講演費用については、ご相談ください。

■過去の講義内容の紹介①

大阪大学人間科学部（毎年担当）

■内容

20分：パイロットの話と質疑応答

30分：もしバナゲーム

20分：各チーム発表

20分：まとめ

共生社会論の生徒さんへ実施。パイロットの山崎さんが事故に遭い寝たきりになったお話を聞いた後に、自分の死生観を考える「もしバナゲーム」をやっていただきました。若い皆さんが想像もしていない自分の「死」を考えるため、非常に白熱します。学生の感想は別紙をご参照ください。



■過去の講義内容の紹介②

奈良学園大学

■内容

30分：パイロットのお話と質疑応答

30分：ワークショップ

(分身ロボットOriHimeで何ができるか?)

20分：各チーム発表

10分：まとめ

作業療法士（OT）を目指す学生さんへ実施。神経難病の多発性硬化症・重症筋無力症のパイロットよりお話しさせていただきました。障害を持つ人からのリアルな現状や思いなどをお伝えしたり、ワークショップでは学生さんたちと一緒に分身ロボットオリヒメの新たな活用方法などを考えました。



■過去の講義内容の紹介③

南海福祉看護専門学校

■内容

30分：パイロットのお話と質疑応答

20分：オリヒメ操作体験

20分：ワークショップ

(分身ロボットオリヒメに付けたい機能)

20分：各チーム発表・まとめ

福祉科の学生さんへ実施。パイロットの山崎さんよりお話しさせていただきました。その後、実際に学生にオリヒメ操作をしてもらいワークショップでは、オリヒメを操作してみて今後どんな機能があればもっと活用できるのか？を考えてもらいました。ロケットに搭乗させて宇宙で活躍できるようにするなど、学生らしい斬新なアイデアなどが発表されました。

